



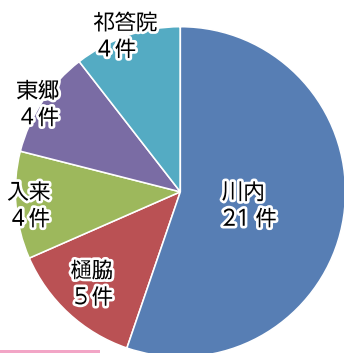
令和6年 火災・救急統計

火災

38件

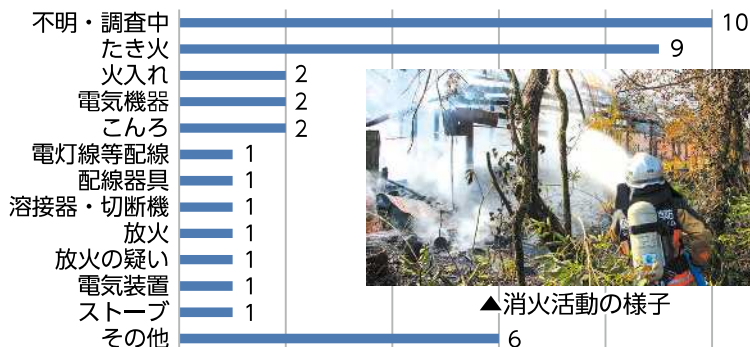
火災件数は令和5年より4件増加し、38件でした。おおよそ10日に1件の割合で発生したことになります。火災種別は建物火災16件、林野火災4件、車両火災3件、その他火災15件でした。出火原因はグラフのとおりで、「たき火」が原因の火災が多くなっています。たき火などの焼却行為は農作業に伴う軽微なものを除き、**原則禁止**されています。また、枯草焼きなどを行う際は、火災の煙と間違わないようにするため、消防署への届出が必要です。

地域別件数



前年比 **4件増**

出火原因別



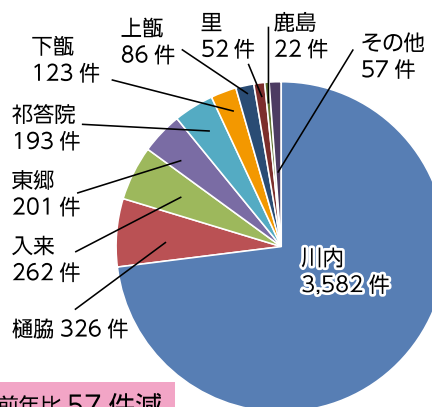
▲消火活動の様子

救急

4904件

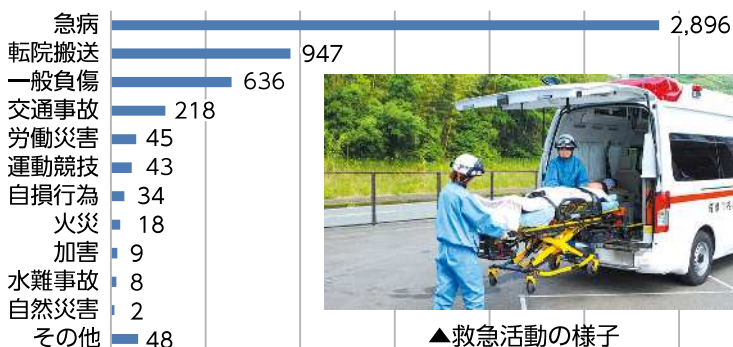
救急件数は令和5年より57件減少し、4,904件でしたが、市町村合併後2番目に多い件数でした。これは1日当たり約13件発生したことになります。なお、搬送人員は令和5年より34人減少し、4,308人でした。

地域別件数



前年比 **57件減**

救急事故別



▲救急活動の様子

新資機材を紹介します！「水中ドローン」



水中ドローンは、令和6年に本市在住の山室克己様より寄贈いただき、消防本部に配備し、海や川などの水難事故の際に活用しています。

本体に装着されている4Kカメラや超広角魚眼レンズ、AIの水中画像補正で、画像がより広く、鮮明に映ることで、要救助者の早期発見につながります。

水深100mまで潜ることができ、360度全方向に移動が可能になっています。また、LED照明システムが搭載されているため、これまでできなかった夜間の情報収集も可能になりました。事故発生時には当局潜水隊と連携して、救助活動にあたります。

自主防災訓練や消防訓練の計画の際は、防災研修センターをご利用ください。